公益財団法人豊田理化学研究所　所長挨拶

玉尾皓平　所長

豊田理化学研究所は昨年，豊田章一郎前理事長のご逝去という誠に悲しむべき出来事によって大きな転機を迎えることとなりました．前理事長は2023年2月14日に97歳にて不帰の客となられました．改めて，心より哀悼の意を表し，謹んでご冥福をお祈り申し上げる次第です．

前理事長は1974年に理事長職に就かれ，ほぼ半世紀にも及ぶ長きにわたって当研究所の活動を率い，ご指導いただきました．理事長が「生涯の友」とよばれる科学者井口洋夫先生を理事，所長として迎え，豊田理研の再興を託され，現在のフェロー制度，スカラー制度などを始めると共に，豊田理研研究棟および井口洋夫記念ホールを建設し，当研究所の活動の確固たる基盤を築かれました．

小職が，所長拝命時に仰せつかった宿題が「若手育成をよろしくたのむ」でした．それで始めたのが，スカラーを中心とした「一泊二日の異分野若手交流会」（2016年度開始）と，「海外大学院進学支援制度」（2019年度開始）です．これらの活動は，今も，発展，定着していることは喜ばしい限りですが，ひとつ心残りは，「異分野若手交流会」に理事長に参加いただけなかったことです．若いスカラーたちに一言激励の言葉を頂戴し，記念撮影に一緒に入っていただくだけでどれほど盛り上がったことだろう，理事長にもきっと喜んでいただけたに違いない，と後悔しきりです．今ではかなわぬこととなってしまって，痛恨の極みです．残された私たちとしては，理事長のご遺志に沿って，若手人材育成策を中心に事業をしっかりと進めていくことこそがご恩に報いることかと存じます．

豊田理研は，2023年6月にご就任いただいた豊田章男新理事長の下で，「新生豊田理研」の新たな歴史のページを刻み始めました．

昨年から強化した3件の若手育成制度が実行に移されました．

①「ライジングフェロー制度」はスカラー制度開始時の2011年度からこれまでのスカラーで構成される「スカラーコミュニティ（350余名）」から選ばれた新進気鋭の研究者を5年間強力に支援する制度で，昨年は3名が選ばれ，2024年度から支援を開始します．

②「スカラー共同研究」は「異分野若手交流会」参加者間の交流から生まれる異分野共同研究で，新分野創成とプロジェクトリーダー育成を目指す，選抜・再編を経る最長6年間の継続支援制度です．この春に，新制度として初めて10チームから3チームに絞り込みました．これらの新制度・強化策によって，豊田理研スカラーに選ばれることが，これまで以上に若手研究者のキャリアアップに効果を発揮し，ステータスとなることを目指します．

③グローバル若手人材育成のための「海外大学院進学支援制度」の支援対象者「Toyota Riken Overseas Predoctoral Fellow（OSPDF）」は5年目を迎える現在までに13人が採択され，オックスフォード大やシカゴ大などで学位取得を目指しています．学位取得まで，しっかりと支援し，学位取得後は国際舞台での活躍に期待しています．

加えて,「シニアフェロー制度」は，独自の分野を切り開き定年を控えた研究者を強力に5年間支援することで，さらなる飛躍に期待するもので，来年度，支援者第一号の出現に期待しています.

対面とオンラインのハイブリッド方式で会議やイベントが効率的かつ効果的となったのは，コロナ禍のプラス効果といえましょうが,「異分野若手交流会」が4年ぶりに対面という形でのあるべき姿で実施できたのは，昨年の最大の喜びでもありました.

本年も，豊田理研がわが国の物質科学研究分野を中心に人材育成・人材ネットワーク構築と新分野創成の拠点として科学技術の発展に貢献すべく，しっかりと取り組んでいく所存です．引き続きのご支援，ご鞭撻のほど，よろしくお願い申し上げます.

公益財団法人豊田理化学研究所
所長　玉 尾　皓 平